

食べる力は生きる力

顔には表情筋があります。お口の周りには口輪筋があります。お口の中にも「舌」という筋肉の塊が存在します。

さて、今回はこの「舌」について少しお話ししたいと思います。

「舌」は消化器官系の最初である口腔の中でも、極めて重要な器官です。舌本来の役割は摂食・嚥下に必要な咀嚼と食塊形成、味覚と言語形成であります。食物を口腔内で移動して、運搬するが、特に食物を歯にのせて、頬と協調して咬合面上に食物を保持し、唾液と混和して食塊を形成します。

舌には味をみるという大切な役割もあります。この味覚は味蕾という味を知るための特別なセンサーが存在します。

このように舌は、食べる事に重要な器官です。舌を動かして舌の位置を適正にして、舌を大切に使いましょう！



適正な舌の位置



舌が下がっている



『1月から2月に「口腔ケアチーム」が行った講演会』

2月7日：豊見城市第2民児協研修会、2月9日：沖縄県ビルメンテナンス協同組合、2月28日：共に生きる町「こはぐら」の地域福祉を考える会で講演を行いました。

職員の皆様の部署、あるいは地域の皆様から、講演会の要望がありましたら、「口腔ケアチーム」（4月からは「摂食・嚥下・口腔ケアチーム」と名称変更予定）までご連絡下さい。 ☎：098-856-1111

文責：外間明美 下の写真は、第2事業部での講演会スナップ

